Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

Kodak Gray Scale

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

藤井文庫

當我抱猫卷第七目録

ちくされとるみ　事

こそぞひの事

ちやうめつぐくのんのる

ちんぞくまうの事

毋れうんだうゆうこうこれ

つまーやうぐんぐる

三井でくれちこうだいる

なる義姉ぞうのる

まりこがハのまー

二のこやれたる部よあひる

屋こそのすぐの事

雨物語巻之七

ちくさのこれみつ事

そもそもまうしのまへのせひぜひたにひんぬのうちぬむ
ぬうむたりしかどそもそもこれまでまれわうさぬぬの
きばわうがおひざこゆめのうき世よ物うつくしきぢ
ひべうざうきこせうあのこいぐさうもぬうとけづうこと
つまをちんぬむのりうくぬ同じぬやうにぐれなぐ
りてぢうりはおりひとなくさまんそぬぬやうぐひ
たりぬおこれおりうくぬをこうぬちくこのうこうてうと
みうまもおどりぐれ行うるぬのわうぐらうこと
こうぬいぐうわうれをこうぐうぬうこうぬこのこ
よ屈ちくひうぬぬこよりこんおうこうぬこのこうみうこ

あらさやのぞれのものいよせなりせど
いとれむうーさんしそはまし
ゆうさうりひいでーまてぐ情とのうたのれと
うけどやをそすあーぽかの命さてさうりくんゆ
といとべうさびぞやうみうい称さんよへせ移ひし
時ぐんあたうへあのえぐさにいうまでぐあげさ
のいうをあーうーうりぐとまてーぐわうまとわうし
さふーゆ角ーんぽいえぐう志うさうーゆ角家やさく。
ふうさをふけまで印れ花のつがさうがてさ彦
うりうりぐ印光をえ上うさ
ぐうでうのあーひぐゆ角よ初ゆるあまをぐひうゆ
そぐまりぐつうさ印ーがうれ志ーさんうぐれのひと

さわをぐひーさうーうはとぐまりぐ浮がーさうーうら
はうをぐあーーわはとれぐさあーーばあぐりとどうえ
やうりつーむぐうまはすまはよぐまよぐんやーがう
ぬけうるまぐはうりとぐめなーむーてぐひ花とう
ゆうさうまぐうさまぐさあぐの浮ひうんぐうま
りみぐではぐれうーいうをわうまぐさ
ひわあれがうーぐわさまうのうう
そのまうひまぐさはぐとんーとそうさてさうーへせ。
なぐはうさむーーよふへれれぐはーーぐさのうりこさ花
ーうとうさてうの花いうがうーてぐめとうぐひ花花
うーふうまるぐ。登なうやぐーめ浮ーうぐさ登ー日報
をわうまれぐ花のいうちもうぐうーうまぐぐわうまぐ

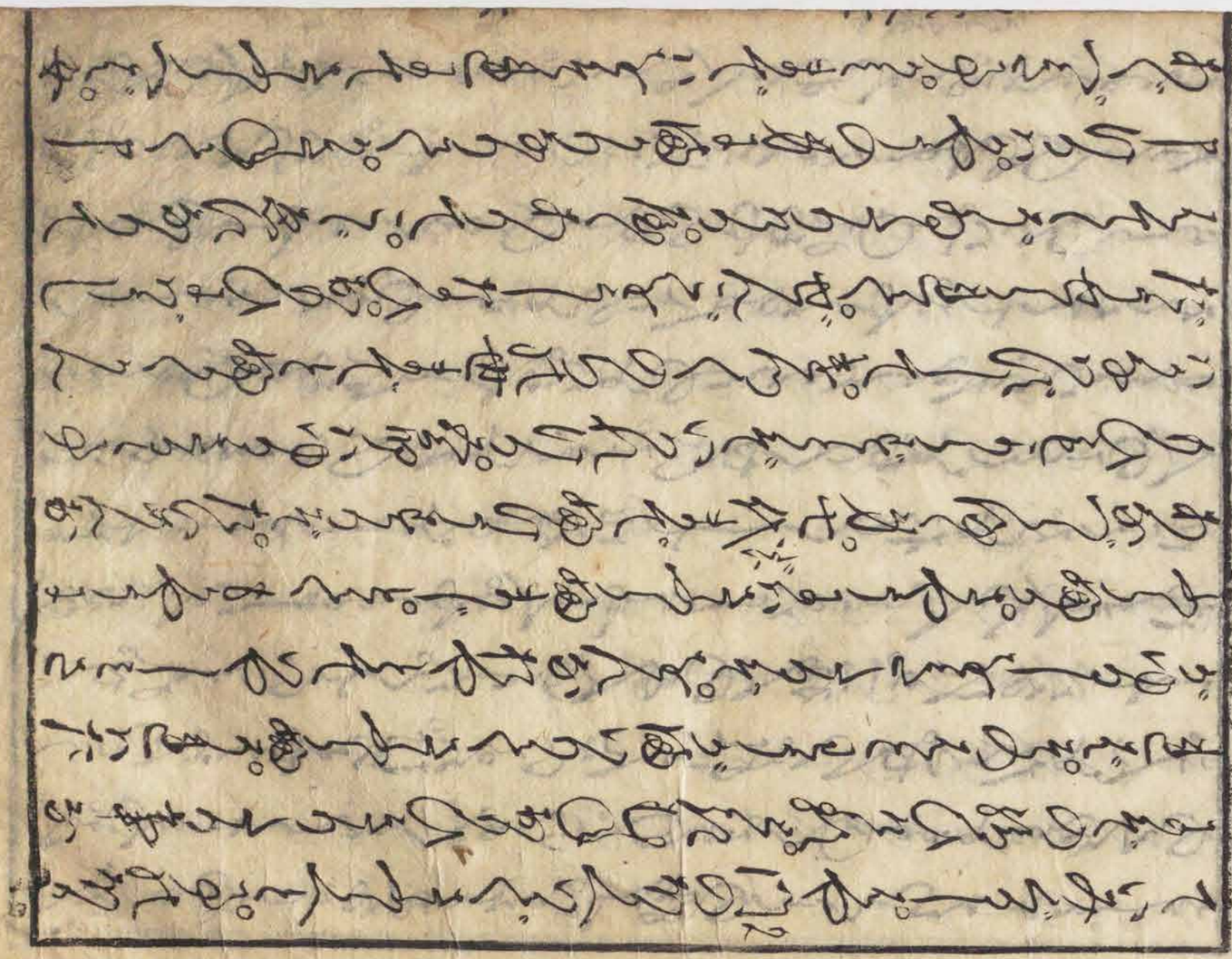
ふうかとぼぐこれば、ぞ御そうてぼくのすがぼひ
こぼりくせんより同じくぼーやうれんたつ〜みず
ごとしとみたりごまぶうよのしぐこみこのもと
あげりいぎうでもいろれぬうこぐさ
それぞくあーばいそみてまう
ぬてくらずこけまぼ十郎そうてぼこのいまぐぞう
ぐぶとれをぼえぬうれこうこそうみくまぐうりえ
ぞるぼうやたぐみべーじとぼだりまこうるとぼのつま
とのこうねこしのこいかりんりうむぐんみーくぐ
たく梅を祝〜ぐうひこうるぼ母はつ四郎をもうせま
ぬぐこうぼこうーひこうつへとりひられぼこうしひこうひ
てぼひとうーねりるぼへぼまりぐこうひこうぐめぐうこれ

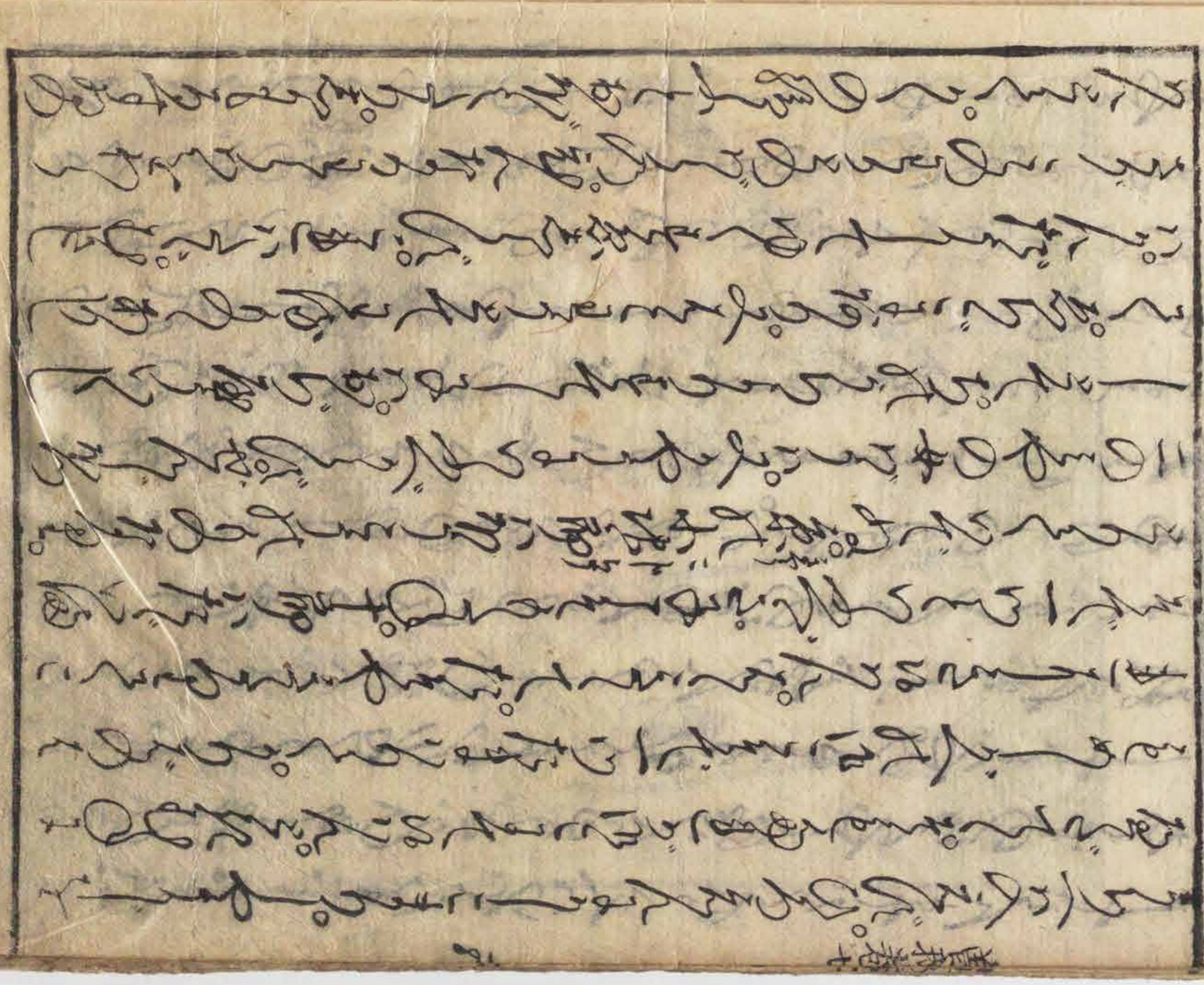
いこうびぼ今はいそこうるつてぐこうぼ母べこぼこうこの
よがぼひりんりうこうておこうぐりんよぼこうあやこうていそ
ぐこうこうそ母こうるせようそぼこうこうぼ母やこうぐこそ地ぐ
りうぐぼうこうみを祝りりうこぼりぐこのぐまりまでまりよこうべこな
たりうもみまりーせてぼりうりあんとこうそぐんりうよ
うこうべ十郎こうこうてぼりこうこれぼぐこうぐうべーぼこうこうぼこの
ぼ井でよぼりぼんぐかりんたうこうとこぼーぼりゆうりてこんを
てぼりこれりうこうこうそおこうりぼ

こうそぐこひのまま

十郎ぼ兄にりうこうこまりぼおりこうこうこれりりうこぼ。
かりうこうこうとりこうーぼ。ぼ恵りうこうこうりりべこうまりよりこうこうはい
祝こぼまりぼだいの母祝りよぼ。ぼりぐこのぼ母祝りぼ地ぼ

ゆうしよのもとにてぞ
ありしむかしをかたりつゝ
いにしへをこひそ秋の暮
はてしなきかなりぬるさの
てんびよりそ千部うつしこ
まつくもやしにけらし
よくさうへぞこそでとぶらひをそいそぎぬ
あれてこゝもとそでありひとをさうろう
ありけりのあるをおもかるまつ
うぶくくものをわんどるにけれ
れどてをあんるゆうそむ
してこゞぞぞさうかでこそかりやうろくわこと
をてのらるやこゝをりんるゆるをこゝひのぞりひこり
してうんとそぞれうえ





だうさらぶろうあるこんわらべどもこしやせんのあやの
たのしひおすこもろみはまくうしでぶつろうのと
うらむしろはつひはあやのあしひろくさとぬぐや。
そそそてぶやうちんりのとぶこのぶてみしく。
まろつぐあうちなうりのとぶはやしれおりひそそよ。
人のこどもとおりくせびぶこをひいうきみりとよ。
ぶこどもとたりくしてぶをすとーこそそ。
ぶまんこんこよはやーいうこりす
ろてはおれぶ一孫んのろんいりぶくていこれぶん
ぶんをたうぶせんのあれまんぐいよんびりやうあつこう
のくりうとまりひくぶうりだいよくこそそろぶの
ぶーこそそらくこのぶうんぶとそそまあぐこありぐん

そそぶあうぐーこうふうらりぶ
ちりひまをおこそそとうしりのとゆうーこうん
といぶれぶいねぐこよ

こやうめりぐうりんの事

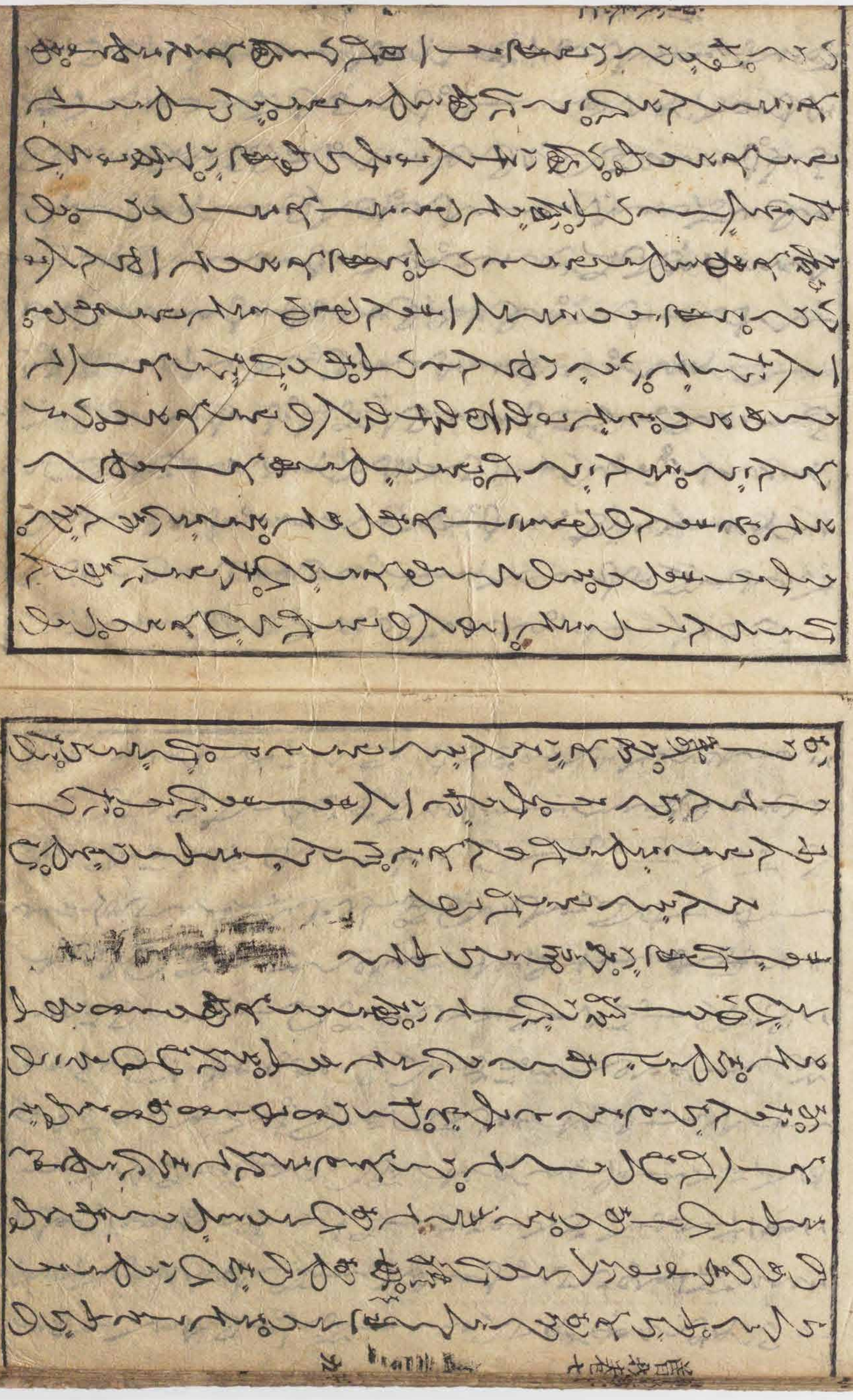
おそまおかうこのあぐくうこうこうこぶこめこれ
こうふうこんぶむうーてんぐくーこよぶやうめつぐりんこいふ
人おりぶおくいのうこせんこうこぶわく
ぶうあむまあこんこいぶぐんこおこぶやれ百九
十九日よ九百九十九のいこのをこうぶ海せんこう
よまんぐう日せいぐんよのぐりてみまここなりは。
ここうんこうよぐぐうぶひにりぶいうこよいぐぶひ
うくれうあを一いううくぶぐいせんこうひぶてこうまこう

なりしそのかぜにあくみまとばかぜにはたらくしたがて
らいでんかびうしてさそのゆうはだりんかあとのもん
しくそ母こうまとそうそのそのもぶんだりかあるかの日
でだだりとうんそうてさそのうちのうそぶやりんをこうそ。
くあうもあしいひくおうさへてこうさんそひんかあ源をと
なりしそ祇八十年ばうふうさらくたりしたひこひつ
ちやうあんらくこうそのそれりかてこうまとそなん
ぢかあれとだそうそうまとりやかりどやこうそかあはた
こあうこうさのうそかんだうれだいこうやうをなつくし。
めれんをべうこに今つうぶんたうこうだこうをなうへを
だこうかれるのしこうこうへかりくはそのうをこうの。
こうづうしをこうしうさつうへしいふ。泳にうあの氣にうそ

つまうりべこうやといひかりそぢをあとよあけ金を
かうりつうぶとあうくこ母のむうふ時。天祥地祥ちこ
まとをそ祈へたひこのうまとうくまづむ母をと
こうこうんとをうこのあ氣をうのしそんかうだみ母。
りうをむうひくだうりんがりくづをうり祈へがたれ
こうらかしうがこいありて。母のくにこまりそのあはむ
うんよをづこうりぶうをたうあとうかやしうりこまうこう
で仏果をえかりこうやうのふりんがんよだうりんこうこ
ううまてうりぶやうれぶをだのう。かやはあれむのひよ
てこうりあ物をを母こうてやこのそまをこうくだこのと
こうてぶうとこうあうりてこうそ。やうあつはこ祈へかんだ
物こうくまこうはがとしへとこうざうりそぶこうこうとこう

ぬてをゆてこのあやつぼおちひそいさてへゑ世ゑあれ
このあれをまつぼすあるがくさてへたおろ国のもう。一人
ろたいりれるさるをとあのりそんはいのりーくんれう
まやこされをいるんーぼてくもれころびなの
めるーどこわん三年まそむまれぼりひこそもせ
ぼこありてころせとりーあたびぼこがんなんり
いりくぼてーおそてんるんこやこもうもうべーだで
しぼうんいたいーうぬまりーーぼこされてぼひ
てこんをれたりいそうむるくとべこさづーがも
らとさこなづりてぼこしとてーごるく乱出下と
のぼるのだをうありるこまぼ頼わりてゆしぼびこされ
こーぼこるんをこんをこてめぼひーこ。

ちゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]



ばさうりうりの三がつとちやうどちやうど。
ちやうりんをくばりうりてやうやうのたうりようせんかを
いつぱいやきたるひごのやうなるものを一日のうちに百ぜんとうれ。
そのうれのこりをばうりうりうり百人のそこをとちやうど。
ムをこせがれわらうりうりぞうりうりとうり
どくせーちうばそのオ一のそこをやうきうれあ
りがとうく。こうせうちうりうりぞんうそう移ぞ。
ゆうこうのいけやうとのべ移ぞやうきうぞりん
とうてぞんにんにんとえうりうりけむく
うときうりうれどうやうんぞくまうぞのわうぞの
だうりうれちやうりんしてぞうちうあくちん
うひうぐべーてどうりうしうぞんあんのうちについ

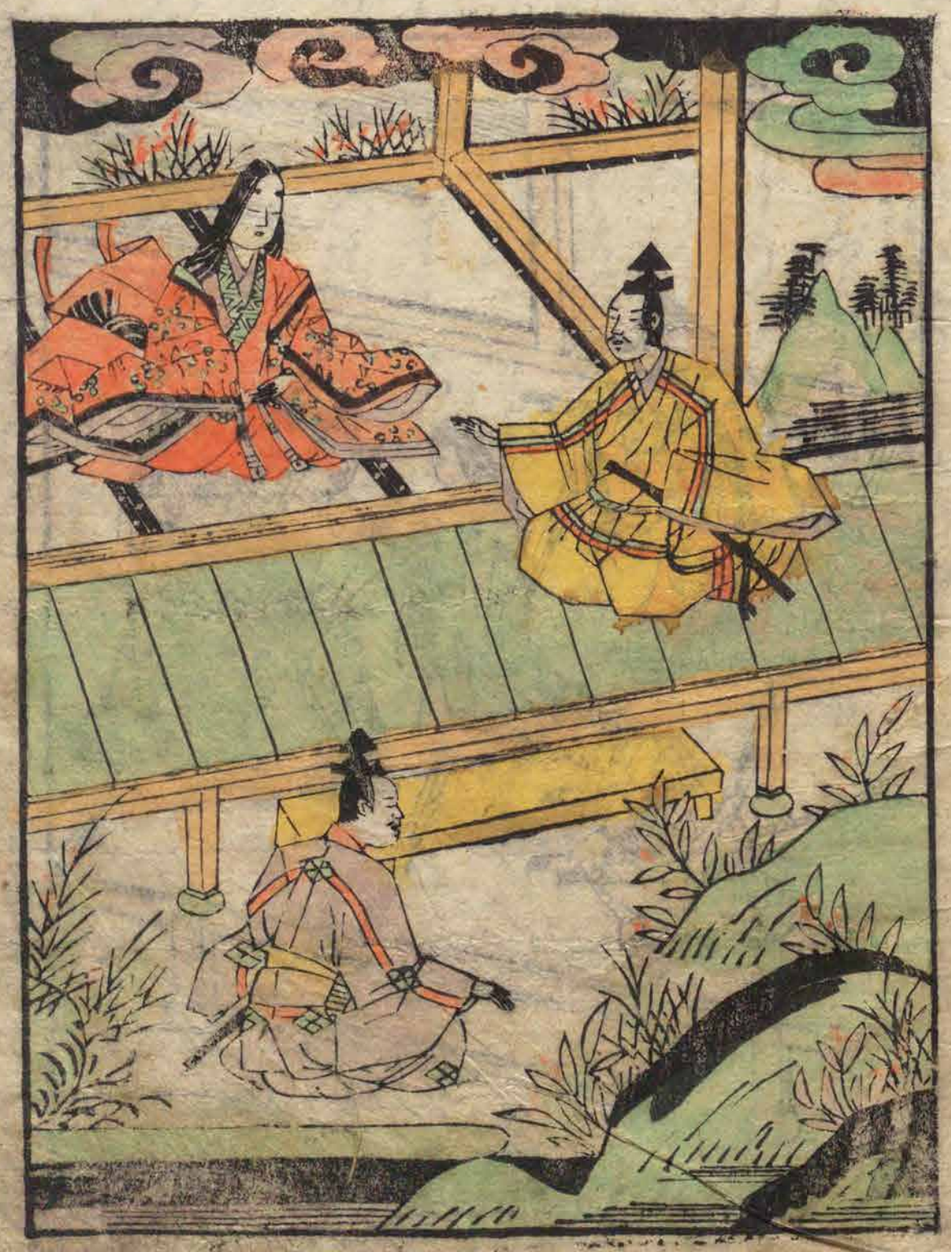
くぞんてくれうどになりうぐべぞうまうげぞうまうそめうれ。
あくちんをあうんしうぐのうりうりうぞ百ぜんをう
たくまうりうべーぞうりうりんぐくまうりうぞんうりうやを
しゆうぐやうしてぞんうぐをあーたまへぞあうたち
だうちんあうーてびうぐうりうりうりんをえうりうみを
うりぞうこうまうとうやうりうりうりうをゆうーてうぞうり
ぬうりうりとえうひーなりうぞうりうりうてぞのうぐくぬう
ムうとうちやうりうりうりうれんとたうくぐうぞうなんうぐ
なうぐやうりうしうたうりうくうりうりうをうぐうくうりうぞぞ。
うちやうりうれあうちうぐんうくぞみうりうをけうきうぞやうむゆ
うちうれうううまうぐうーてぞうんへうりうをうぞうぬうりううぐうぬ
みうりうまぞんんうそうりうりうりうぐうりうりうりうりうぞ

命をありひさうしうしうみんだぢめをとりうしこま
ひくくこぢぢひりはひゆうしさうしうしのこぞど
めうりのつぢ命はうしうぢうしうしうまてめ命とまてぞ
みくざりうりぢおまりうりめそけまでぢみうしかうしう
ゆうしうくみうしんぢぢ命ゆうしうちまではうしうえびひうえん
うしなんしわまうしくわうしうおまりうよむぢんりか
ぼうしてぢううどとひうさわをぢしこまりてわ命ぢこ
とりうとはうくぐうとうしてめうりぢ命わりてそまじが
しぢうやうだいおまうこうしうんぢどぢがれひんなうよ
うしうくぢうしうくのをうまれはうまうぢなのうれ
一人うそつまうそひくくはうんぢりうとあびんとわが
しめうう後さううぢぢひとううてぢゆうしさう

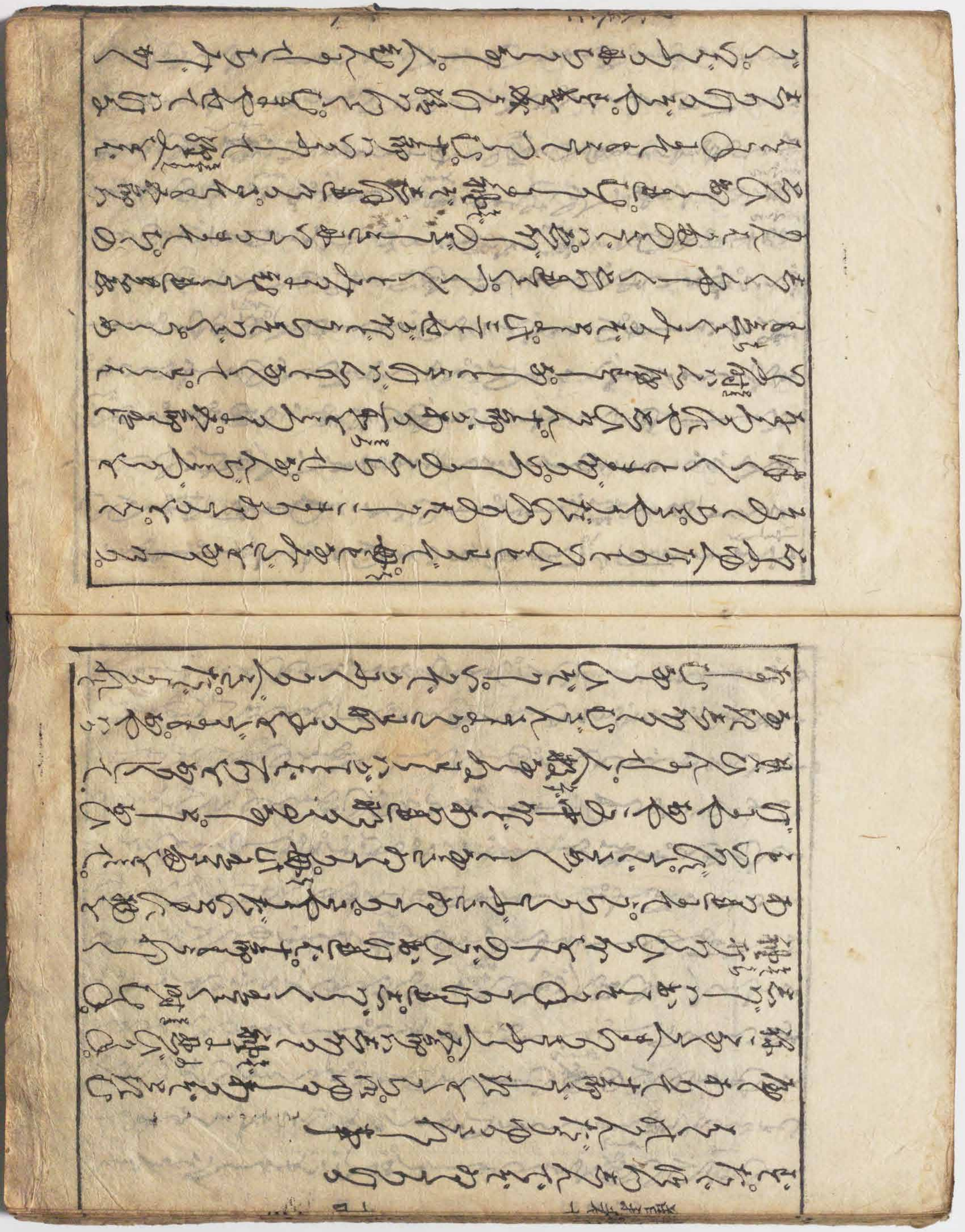
ぢんうぢぢはうりのぢれうぢ二人おうう
ぢはうさうしうぢうぢうしてんびあううれはぢこ
りをうんうはいうりぢおはぢううさはぢうまくをうてうされ
うううりちしやのうてうさとはうすうしうをぢうやれううう
はおううべううびぢうてうぢのうたううねうをばぢのげうぢれちぢ
乃ひうりうぢうぢをんをあびうぢくなうしとはぢんうぢよのう
ぢおうくぢどやぢ命うはやうぢうぢうてぢそまじはうううり
まうてはうううんぢどぢううんぢあうのりんうをみうはぢうよ
ぢが移んしのじやうぢうやうぢうはんぢんぢはぢんぢを
やうう移んしぢちぢ移んぢんぢんぢはぢうまうくうううぢぬ
のりんうをちやくうをまじばりけはしのじやうとあが
めううりまじぢうとぢのうやうりけとありひうそぢ

つゝぬけこそみてゝへぬるそしておとこ
のことやゆゑてゆんぢくはあやのよれをとりあつひ
くやいでゝ身づくゝまれくなくなくくなくといひてきう
せんぽまくそうはゆきのくらうたんをとえんぽうきや
うはくりのくへうくやくとえんぽうぢんはまあこをぬ
きぞんせうはみてをやくぢちくはあしとうぽゆんぬん
ちくとぬくぢくはくくとかどくうぢうぬはいさ
ゆをとあくてめおしまをとこをぢをこまをみくくう
くのたなかくずやたうんどゆくとちんなくとちやう
ぢうなまひとをぢせびぢんしやくうもせんぢん
ぬくうぢうをとばりら井どとくとやぢんのくしばを
くくうぢうのぢのうくうあくうくへぬけうたい

きのとをぢなのじみちをとゆくべくびぢうくあうと
ぞいひろぢすりのりくくひくくしくろはぢ一たんのはん
とくひくぢやうくしよりくぢはいぬけくうはいたくうう
つをぢ母よんぢくれかくくはかくしにうべくう
どぞうぞくくのくちちよりもうくびどれひとをぢは
はひ一時ぢりくくう一ぬよりあがくぢくれはうぬん
くや二百六十ぬどくくしはとぢまい日六万ぢんの金郷
ぬくたくうくてぢくあたくうはうの絵りくへぢ大
池といくぢれくんちう池神とぢ池のありれくすき
くくあぬまぢぬくうれりのくぬしあくごんどりくと
とりてくりくくく



しらくまよりうせうりをとられまうしさうものの弟ひん
ふさうつくへいぶめとくりのどとうかくどしてたまくらのハ
まてこ結ぶのづさ。ゆうよはんづくまーませびさ
ちうりうくげをあさまくにぷ。ぷとあんうあ
びんはあれくいぞや。あうれげはいまをうざりとー
あくぶぷぐやとうべさをーしべさうあうれぐ。ものび
のあんぐよあうとうまそ。ぐーいあををいざりうり。
わたもゆうひとの結ひばナ命いうてこびやとひて。
りらうう蔵さんうひくさたにめとこあ。そても
くてをいさびひあさくぐやおりてもなうちうさあん。
ゆまへすめーいぐーかうそらびうちわわをーくぐん
ぐんすりのまてんわをたぐーちばいぐーてけーさをう。



しゝじゝゆ。ゆのようんてうたうそくとさつてあぐ。母
だうたらさてぷうんぐくわんのすゝめとゆとれば。
母うらあそそまつく西のまゝせりとさられぷ稚くのさられ
童元そくあ。二人のおとゝ兄そうろう母元ゝせのそぷ。
五十郎のびそう童ぐ五郎三ことかりしとさけまぐのさう
づさ。母そうあげくぷ三年相けうれのたくとゆうさ
敬ちうーぷびさうづぐぐとひどうよせん位あわせー
ちやうようづさひぷあるゝどけうおのそふたうぐ。
たうーどあくそいちく相の云郎ぐい海屋うぐ系
くんぐがゝあしとうくぷさまれたんあれぐみり
ゝそとせくけぐーそぷそのいをうまよ時ぷひの
よとゝとしんぷとまどのまひさふくんぷ十郎と

うりとぐくそうりあ。ひあうでうよ孫そうぷうくく
あそーとせあられぐ。ちぐこいとそびうるとぷ十
郎そあーそくまうられば。ぷ郎あつぐひゝさうう
ゝそうさひくまふさうけまぐ式いちれてまびく
あうちうれぷ。ぐうあ相ひとぬまでとぷーそしく。
三づんあゝてぐまあうけうぐのまくてはとさえ
てぷうまれてとさうあーこさいぷやれわうまてみれな
げきぷうあれぐひひとゝあうーぐいぐづれとまれてうあ
でさ。神ぐよあまれうきのびあ孫とぷーてぐひう開も
ぐかとぷ二ぐんぜあゝぐあまゝうりうぷくいひうとゝ
ひあれてぷれくいさそゝもうれいのちぷくさうぐうりる
なみぐのつぷぷあるようそりて神のうくーま

まばらうしぢぐまみてぞへうろうぐてさりもと
ぎたれどず命うしとまつくこうんどみりよ面うり。
こうやうぐいぐゆまよいろぬうこやうもとしぢうまつりぢ
つびのぢとんのとあづうりこまつうぐぞとびのこぞとも
んやとくこうぐぢくしやうまうまれへこまつ
ぐやとぞんりこうみ面毋こうてなしゆんこのこびめ
ぢうりのぢとうんりとおくぐかゆうぐやうれりぐまも
こうみうぐぢひとぐまり絡へうりかぐうりりやうの
れぐうこあまぢこうぐぞ行りにこうぢまくねう
ぐうこうちやの絡へぐぢうこうりのやうつのまう面く
あひうこうぐてうとりあり。ず命まうこうせめうぐぞ。
うりあつびしもをうしへず命ぢつうりに紬をとりて在

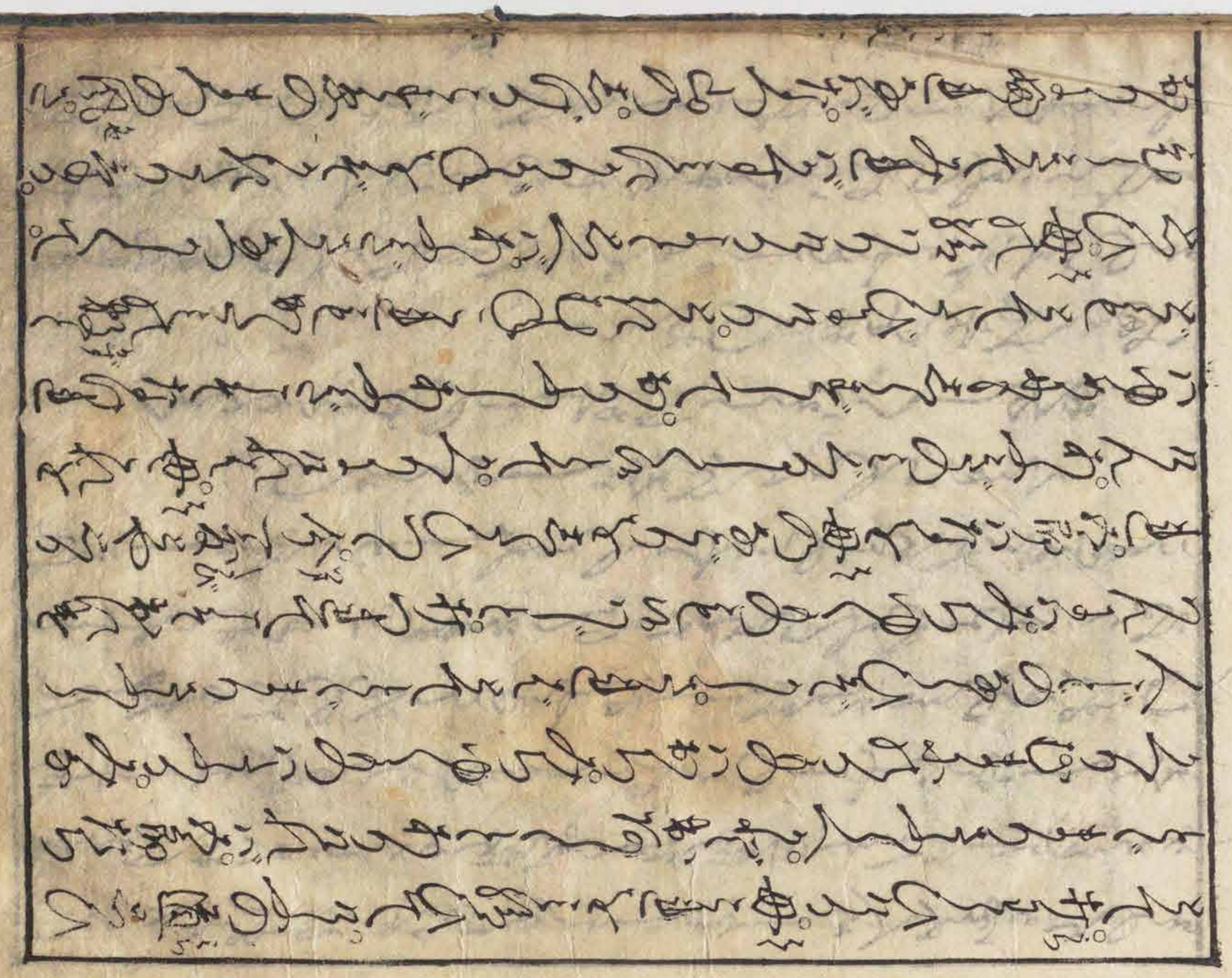
こうびぢこまぢはこうぐ毎のみーつもこうこ紬くこうなをみぐど
ぢよまびのよれりこうせたりこぢうまんをこうづうし。
こうぐぢとこうくめてとこうぐぢとこうぐぢしぢへてくこうこうり絡
毋こうまりまぢうあ絡りりもこ絡りぬまれこうんじ
こうりぬぐこうへぢんぐこうくこうくへたぢんよこびこうくへ
こうぐぐとこうこりこうぢこうぐぐのりこうまりわうり絡ただ
ぐひのりこうこのこうへぐうりを紬をつうくこうりこうこうり。
こうこうとこうやうだいいぐこうこと三りれど毋みとうりの
絡ひこうりぢうぢすぐこのこうこうぢず命こう紬をこうりこうこうこ
こうこびぢつぬあこびりのこうこうこうせめこうこうこうひーぬ。
こうまりくこうこあくこのりの命ぬこうこせりこうぐぞぢこうりこうこうり
大こうりひこうこまこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ

みせざりしがだう三郎よこやせうとこの人ばかりまと
ゐてくるようせいりうぞやあまとにこやうぢいとばかりの
山のわくるまとりうべりりりうのとやうちくあいこりか
ら一番とこれ一人わう母よりあはりうせいひんあれど。
ちくしこのようくありわうなんたの世にあるの。
うまやれ人うわうれひでさそをみぢをつくしとあう
しはひとれどそのざいこうしちうそれにそで
とぞわしりうぞそこあうしでいのんくばかりこあ
ようりうぞそと中よとうまりてうもというん
しうりのうちなだいあゆうれどしてばあこやう
ごうとあうたうるのまりうこうくこてびうあなこさ
あうりうぞこ神ちんせわとあうわせしれうこそとうあと。

行ようんせこいひはんうくなくあれうあるのさよ
とうこうこいはりんうのああのやうよあがくこうと
てうちわうこうこそでなくこあうこうぞうまて世にこて
んのまこにあやはうやうとこうとうこさばうまがまでか
もあるもこまりべーばこ三年こそあはうのあこて
はこうんんうばこうこうくこうひこそまうしあうはう
わうこれはあうこうようもあんこそまうくなくこう
よたいあはいゆうしとうこくあうりうばあなくして。
いそんうあこそうのはけまぞこにはうこうとはあひく。
はうあうせんこうこればうまはあうくこうあとこうせ
こそまうこうばこまこまこうかばあやあうんなれも
のはのうばうの世まそうこうさせあうのはいこうあはせはこ

すぎこうかてうみいかのぢやうまてて一ぜつぢん
きぐてこことのこさうんちくすこまりかぐ
ちのよあうぬぬぐりうわいどいをぐはまの
このうれうらりぢなりやしまを君
とのかしやう殿んサニのちの世ねてこうそ書ろう
ちぬ山ぢのちとわしれちぎうこれ
ぬぐこちりうそていりりおん
あ所ここむひしやう殿んサうあやい一世のちぐり
やいりせぢとぢのびちぢやうどそいまりわ世
とこやうれうりれとのくこうにのくぢれうこ
まあここ殿てごこのころはまろびのそぢちぐ
こ殿のべぢぢやうしへせんこそぢこちこあを

めんらうのちりうらてひまつん殿うよこく
こいりれしやこじのここてそこたりりぬむか
しぎんこをばつひのこうろりいぐこうびぢまてこ
ちんぬおるしこそむまやのわまはよういぐたり
こりぢこのえここそうやうれるまでうこりけま。
かてていぐりりがぢぐやいぬてひこそこそまつ
らんここぢぬぐひこぐあこりりりぢてこの殿ひりぬ
ぢまこんてんこいこうひこ殿ん世にわうんいこんぬ
りのをばけこぐあくありひわれづりぐぢやうか
つまここうぐむぐうこびみこうこいのぢていこやうは
いあうぐぢそのんてぬまりりむづひ殿へぢいのこや
れまりぬんのあひつをこうまていりうぐぢく



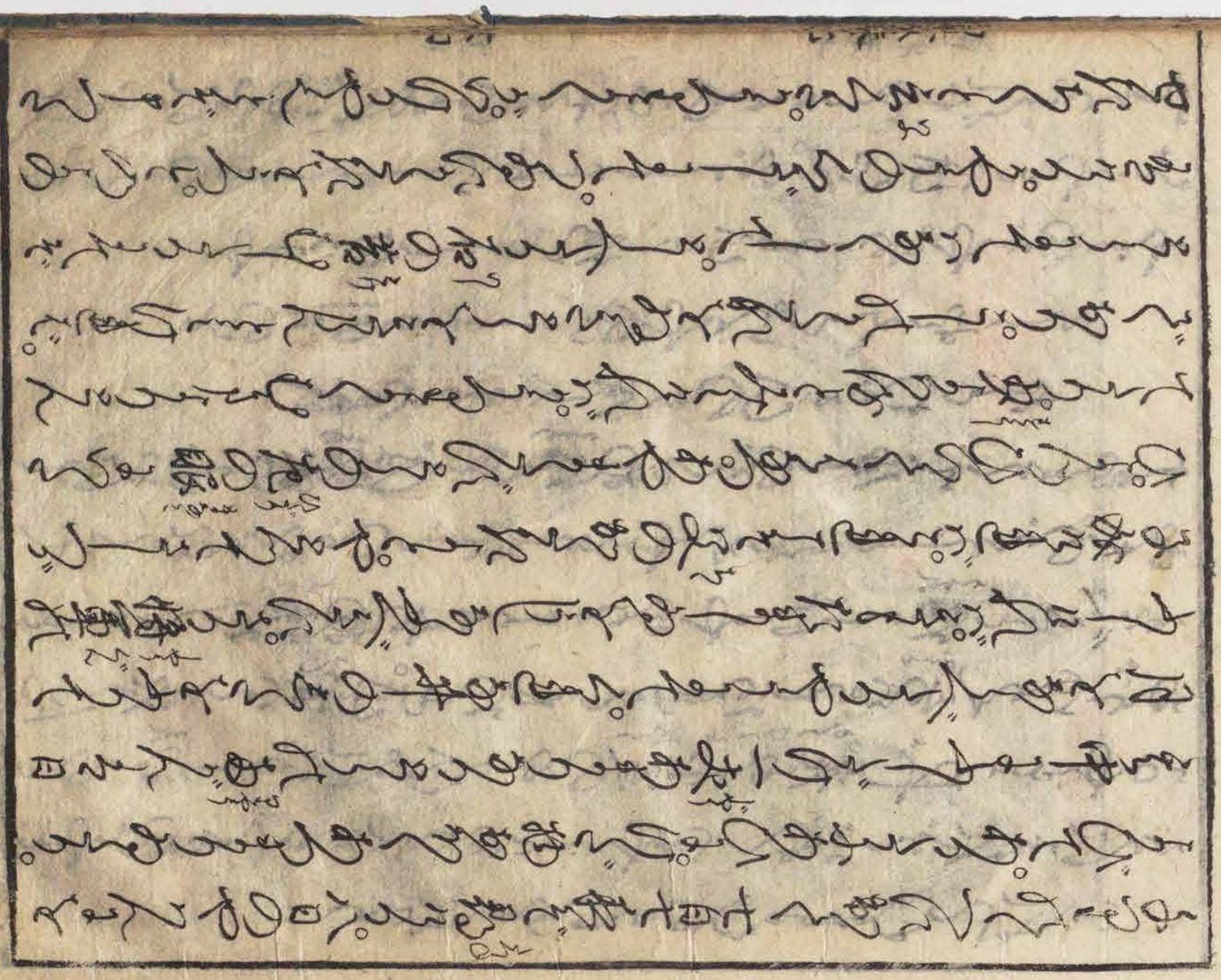
みぐるまぐるものそれまうらぐるまぐるものそれまうらぐるまぐるものそれまうら

母いあづまうちひきつまびろうんよりちかあんとうり。
さ風くよぶのうちひうろ。紅もてまものうやうしうだれ
のひさわうもびまれつうすぐ。ぷうかつうりやうぷ神い
又よみてうまれぷうやういたうのおとうやぷ神い高ぶ
つぎーさぷやのあひ風ぷうちつりあうよいうまぐ。
あぐやうみうていちくまみふうまたぷまてうのう
あうりえ山寺うたそぐうれ。えうくげとしく
みあうぷ神い宝よすうーうどもぷあうくうんぎやこ。
わづうとうよゆえうぷいづまうとうげなうりのれうかいう
なう大将ぐんとうえぷづうーかじぷわうも世にわうぷれ
まうあううぐぷ風ぐくいうれうとうりうれうまうりうば。
いうにうまーくうあんとぷあぐとうまなれ行うぷ

ぢうこうまとそそ。ぬのはぎあにぱあみぐさいまつ
とやれぶ。ぬぬぬぬ。ぬぬぬぬ。ぬぬぬぬ

とゝ殿ぬくとうぐさとのぬくせんとゝとんいたのかゝちうそうあぐそうそうおうあけうそ。
ちよせんどくのむゝとりとめぬくあたらぐせんと
うひぐくのむゝとりとめいつのどくぐくせんとんのせ
ゑみぐうてくうぐんれぐうてうてうてうをぬまぐそうかを
いうぐたううぐうぐぐぐぬむのゝくぬぐうくうあけく
まとうぐたいたうとうんたいたいたとうんとせうぐうけう
をかくうこのてうやかくうんかくうんとやまにうんとぐい
ぬう美ゑれぐゝくゝていつまぐぬとゝいまうゝいうびい
ううたとやゝのまゝいぐ帝ゝうてぐうんはたゝゝとけて
ぬうかいぬうようんうてうむのゝくかうぐれまんうるとゝ
ぐうかいんゝとうぐくのうゝいうぐうぐゝくうくうけう

をううくうひゝんいるのあぐくいうゝれまうを面ようとうやうぐん
ううたけうくいうきゝうぐうゝうのうゝやうをいんのゝれなうき
事夫ようゝのうゝおうれうをうゝれうやいうぐようんうと。将軍
ようううぐ和ゝぬぐうゝうやゝいぐうゝうのうゝうゝとうゝそ
ねぐひなうを将軍やうとうれうゝぬかうゝのけうゝのと
ひうう秋ゝのぐようぬくうゝうとううようゝいて将軍
うゝうゝようれうくうせうゝいうたううゝうんうゝうれう
とうるゝうゝのうゝむのゝうゝぬぬぐうゝのゝうゝて。
将軍うゝうゝようれうゝうゝゝぐうゝうのみぐうとなぐ
ひぐうとうのうのたうのうぐうゝぐうゝいぐうゝのゝいうゝとぐゝ
ううてうゝうゝんぐいうゝうゝあうゝうゝとんと日数うゝうれう。
月日にやうゝうのうゝうゝぐぬゝぬゝうゝぐんゝ



てうぷうれだゆきそうのよぷちうしよあんぷあやれうこれ
とうつとゐけんぷんぷぐーようりつーうもあのうちさ
ゐーぬぐやぷうーもけうこゐけとうこけうよや
そーぬやみくぷうちやのいーよりりのと
などわぐうひのうゐけうーうるぐ武
十郎うこてあとのぷくこあ縁ぐんぐば明めいつめやれうこ
めたぷのぐうぐーとこそこてうぐそうよぷたどわぐわうれうこで
うこべうこと猪うーぷけうやありうよううあ縁ぷりーくーーと
あぐゆうこ武ぷうもなうきうくもなきぐぷぐないうこれうたん
うもうとうもぐ老あ石宣のあーひあんぷぷりー縁ーかさ
こうにこれぐーぷおくるまやーれありてうーぐこあるとー
たいふれーてひーよひーうーうーうーうーう

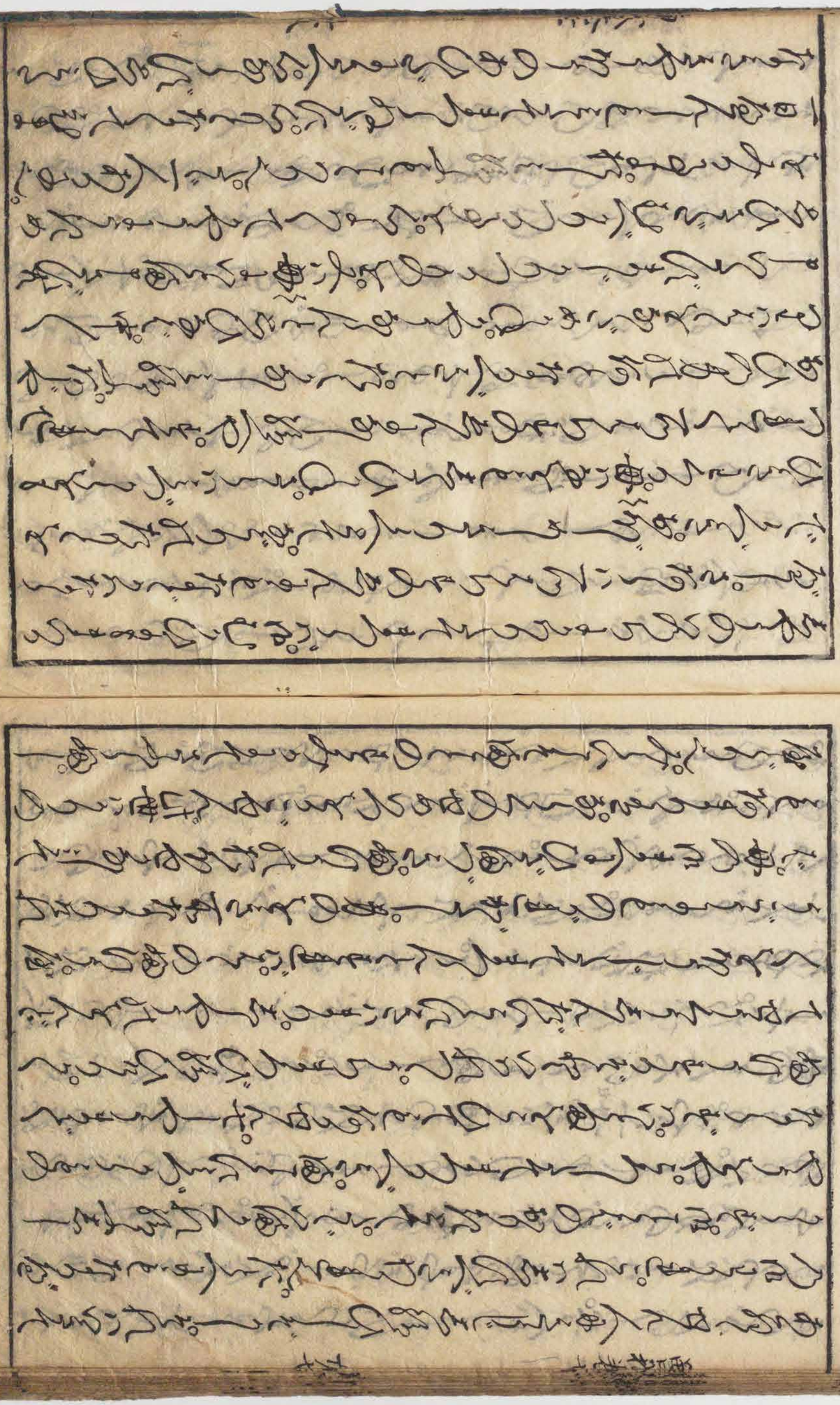
三井でこれぢうだりのまま
十郎ハあつぐらとこそゆんとうつぶ郎ハこそ〇を
こんとうつぶられわりぶこの三ぢ井なりたりのうび
ぶ人たぶとこまかろうんがくなこにぶんぶんまつ
ぶぶ井でみうちりてはめまかぶべしぶこの
ぶこ面ととーさんこそまりたりとあがめさ
ぶぶこうぶれこうんぶだうのの一ぶんなりこうとぶ
ぶぶひぶうぶぐぶんちたりたりぶのうぶれをんを
ありくこれぶかうみあづうたりわりぶれうの
ぶのやぶんぶやうじまちこうだりこそぶぐたこ
上人ここもぶひうぶ。ぶんこうきんのこうこう
ぶこうこうわぶぶぶぶまぐこんとこのまぶ

ざりうゆへまぢうびやうてぷうあう
らんとたまへぐてぷすかうらせのうへとうびくぷう
かうせうりうぷらやうごうこうびりうてなとうはうぷ
うしびたくしあわうされでーのうちよぷかうとんかう
くてぷいとうくくしてぷのれのらりうりうべまん
まーまうさぱぷまりうりうんとーぷーしやうみんいうりうの
まくぱぷまとはの絵りひとぷりとありてれでー
とみまりーりうぷーしびあはうれでー。二百よんあ
まどとぷまとうりんくれわせしぬかさ二人まな
しぬとたびひりんありうれぷを或めんて絵ふれ絵
わうりれまりうぷくてかんりーしれるりなりうぷてう
せうりうなのじやりとー高十八よなり絵ふれがぷりうざ

りりまくみいでぷまとかうとんのありまこれて
がくこーぷにうてりかうじくてぬりうべこぷれ
らがいのりなりうとぷりうくくまりうりなりれ
たぷりうこびのうへのうはうびぷれるりうこまふまふん
やぷやりくくそくとうりうのれうそでとうれありれ絵
ひくぷせいりいがまへすりひざまづき絵ぷやうみん
こうこーめーぷやりうれまれじりうりれなみざとう
うれうこれ絵ひてれうかとあうなのげりんぞんのれうこ
とれらんりうりうぷうのいれらをれわりこれりてぷ
かれいうりまとおがりうこうれうりれうがれあうれり。
こうまこ又れざひのれんざーこそぞみてうりうぷせうりうこ
絵りくーこうまりうりうぷゆくくありひうこざめてれ。ぷんぞべ

さきのもさうらひぞのうへにやうかんのくるうとみさ
てまつるぬぞんのひまもあるくそくへぱくてゐる
まうしびさきりわるどぱいうぎわうをとあてこなうひぱま
はりとりそげまさきつへぱでし八ちめんりわまう
ちくとりらくゆうとてうびうんじやうのをごさとこ
みこうつひそうつまらうべぱたづまらはるぱ
うくぱゐうつくでいでるぱやうこうたづやまを
わうれというゐるのいなうぱのちくれりとあうぱ
るうらうくめうりはうぱくきてとそびぱやうとう
ハそぞようりつうぱりひとうどぱやうのはを
づりまそぱてうわうれうをばとそはうべさうぱかと
のうこうづうこうたぢうてこそぢめんどなうべゐ。

ありひとうゐたりこうそぱやうれひぢたうまを
うゐぱなみぢまむせづづりうなりぱやうくうてはを
ちをとうりちづうてぱくくこうこうりやぱちしやうのは
をんぢくまのぱなひとうたくくうぱでこぱなうれお
りやうこうとわづてくうぱうなうさてづうこうをて
これたうたちこうやうのとんどくをとうりはは。
母のをんたうりうとゐうしぱうきやの人うひを
わうりのぱやハ一世ぱちハ三世わうえれわうれくぱうせはは
ゐんぱのこうあうのいまりまうゐぱくぱのいのちを
ちこゐはかのぱうづをべれうをとべさうのまづこそ
をうりつれうりぱうそはうすやぢやうがんたうれはは。
ちうづたうりぱ人かうしまひちたうをうをそ。



てまつるゆーかのーぽまもあるうるさけぷくにを
ぐりそうぢひくぷひぐまづきうーろうようぷあつハ
わつぎとうひぷあいあうしひろあうよきてめぢつ
こまきうろべーしびくーしやたぷくれぐーとあきこづく
がんーよまうやてくわーあうやてまけれぢぷ人もな
われこあうくんつーまうやうはこびあうーようけく
ちんーとくあまこぢはうのーぷまこはあれこの
うぐーぐこうぷえきとくーひみこそまうんなを
かうひーぞうーぷけうーいうもこうーうまこそまうる
ぐぷこーそうあーくまーまうさめーとぷくいなみぐーもせ
きあくぐぷ。ゆーこーにこづうーうやあくなぐてりくいう
ぢうくべきんぐーうれぐぷうーこたくまびはあうーもあ

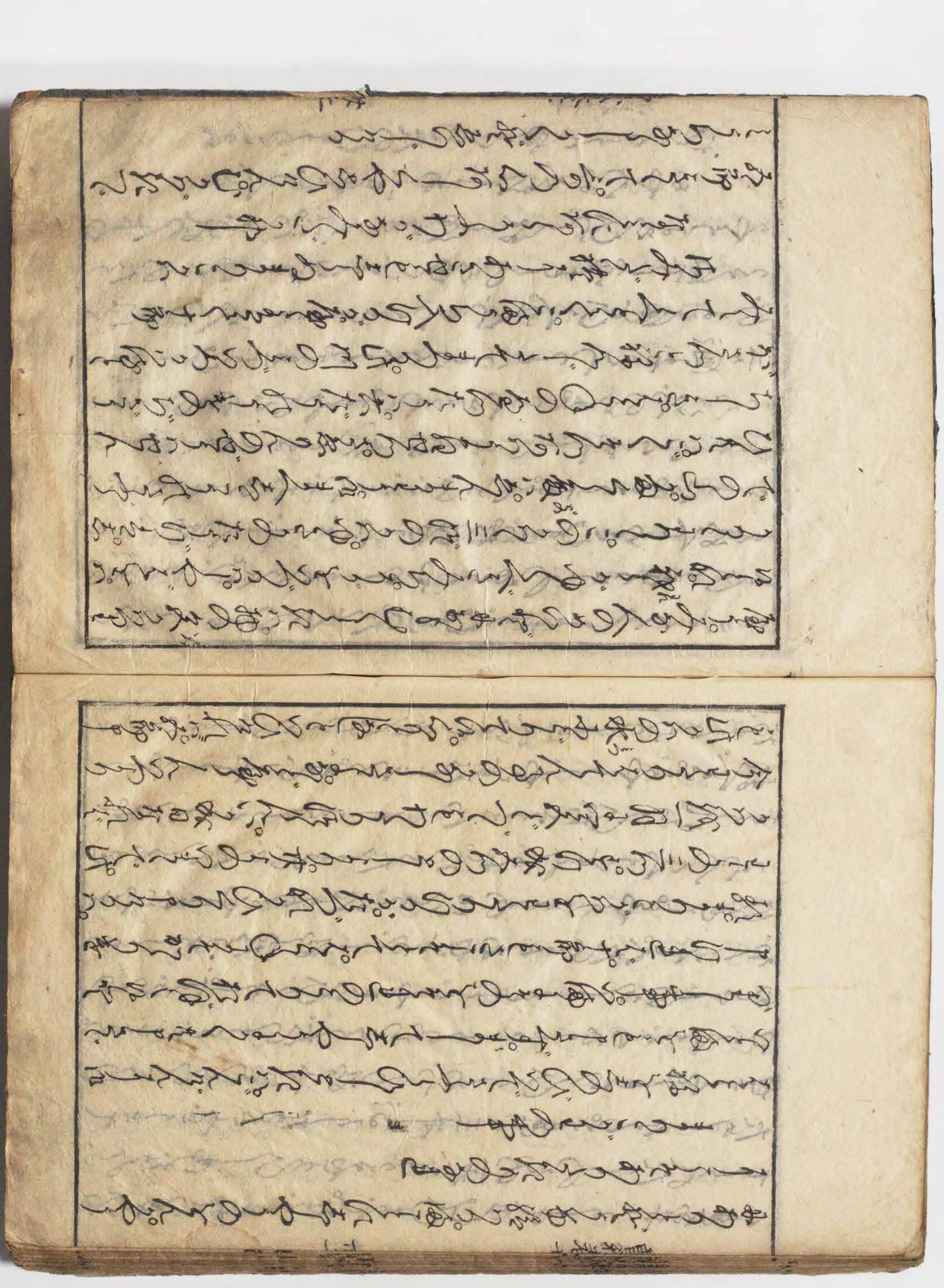
まびたぐぐうぜんうーてあくづりくぷなぢはーもあ
いひくーうたりはくーとふきぐこうーうるーぷあきこづく
ぢひけまこびぷぐぐひきこれぐくーてえれんくーとなるこ。
こづうくーがーくーとうーうくーくこうーめくーこぷ
これはぐーめうくーひぐうーまあぐんぐーこうーハ
ぐぷうりかぐーぷ。ぐそーまーしーくーぷ世いゆうまが
うーくーとくこなーぢぷ。仏ほとーまーはかうーまなーぷーづ
なくんーひーあうーよあーこーうなうーぷぐーうーうんーつく
りうねーをこうーくーこーぷ。うーくーをーまーうーひくーこーうー
ぬぷうーまこーいかーけいこうあーしーぐーやーまーぜんあくーぐーもあれよ
ーーぷくんーをうーをあうーーまーひまーぢーぷきなうーこーあーやーこうー
ーまーぷーかーぷーぐーこーなーうーこーまーみかーこーうーんーのぐーんは

ちゑもさんの大ゐもとぐくあがれ一ぢまもそやき
まりてさうつてやぢいうりけまだぢはく乙人うそ
ををそうしゆうりうそうそうりぢさとんかうじぢん
じゐかうとんりやのぢとゐりとはぢさんにそれけまは
そくあみぢをあうえくぐはくばそゆうーくうぢやうく
うゐうまきくてぢうぐぢそうそうりうぬうしんうく
ゐかぐぢてんりゐどうゐをなゐまことをありはうぐぢそや
なる家姫どうゐのあ
せいゐいおうりーやまゐりーるゐあんぢせーやうよゆうを
うれぢやりーさまゐあのはくくあうーべぢそんせんうんぎ
かずれぢどうーをゐうりとゆうーうとゆうをへてやい
めいらいとうぢやうーるゐ。じゐどはうくくあゐりう。

ろみがんでんたいきあくぞくらいてんきうぞくらう
ぢぢんぱたつきうまでぐりんどうりてぞ
ゐえりんりきうびろれだぞうのまろとみさく。
いろくのえんせんつかひいそしにまひわが
つまくまひわそびおわろひいだんじやうをおどりま
ひぬどうの大しやうぬどうきつとろんをあり
ゐひろれでぞのそれせひいざれろくぞあどを
ろわくせうろうのうぐとあでぴやうどうちぞいぜう
めうでんといひそれぞれつちよ人のくあうきうそぜう
ろうきようろうろう風どそんそいうわせとおぐーぞさ
うを風どうぞいとそどぐうのいつまとよどぐば。
こうをみう人せいあいがぞくれたうこうぞうろう

ハんぶしれありくこゝにぷとそでとをぶりうゐ。
きそでをうちのうへべうりうりくぷうちのひ
ぐさりしうぶ年ごろあくこそまつぷぐうあ毎
ぐうこうやうもうをぷおくこそまつぷぐこうなき
いのうぷあのよりじどうしめぷぐひとたんぐやう
よぐめんこぷやうれんすぐうしぷおんあうぐやう
をりよむこうり絡ぷちんしやぷくちんぐやう絡。
あやまち絡ぷなこぷちんのぐうんとなりけきぷや
うもうあうきこやおかがうんぷぐうのはまあこよ
つぐれあ年のひあうきぐこぷくこなぐうれまま
ひくぷんちたうくもかうとんをれりくしてぷん
のあやをうすそぷあひりうんぐぷかりぐても

なのまりありぷきこみいでぷあんぢぐりひうりうつ
あんべこぷぐやうしぐやとをたとうぷぐいしやこうやう
きうれちうひぢぐうこんうこうりうぐうこどぷうりや
こうりうをみうあぷたるまぢぐんあうつまき
りまこぷこやうもうのはいでれうりうやこんを
がりりぐぷたひりあをあぐれ絡ぷうこうまも
あうこじりあうこをとぐををいひぐこうぷすおうら
やうこうがくあうとぐこうりぷちこうだりうもたをとう。
やうこうをもうひりあづうり絡ぷありがうしを
たりこうりぷうきぐこ三年るりなうこぐうこそ
てうれたうこのこの一年なぐうをひりぷなみぷ。
ふきあ年ようしてはひ〇まぐぷなぐうきかりうそぷ

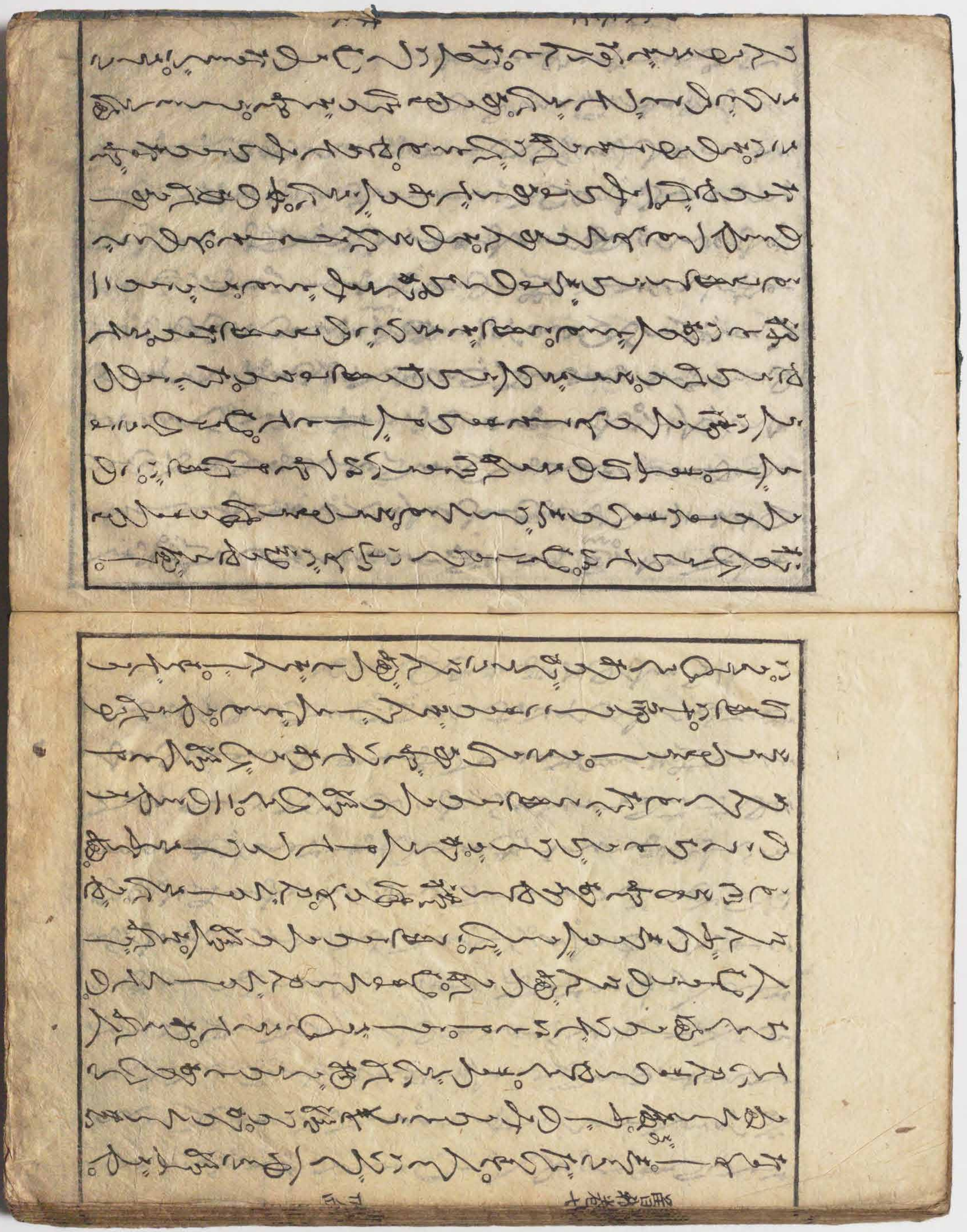


わくらゝ　なくぞたのむ　まつこゑ
　　ゆやのかてゝ　れうあふせをあり　へて
うゝよゝひつゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ
ゝゝ　ゆ

きのをうけいぐ。二ちやうづゝうけとりぬ。十命を
うさめくありひおぐ。こゝ面うけいぐ。ひつくさう。
み命ひさうぐり。ぐたくろ。ぐんぐうちやうを
うくほりの。ぐまうくさうぐこのみぐりあ。くうぐ。
あにちうだう三命ぐ。ぐとを出ちぐくうり。ぐまく
とぐそぐ。ねくくぐ。ぐりひるおいそぐ。ぐうや
をうぐ。ぐちうんぐうのあくぐぐんぐうくそい奇
とのくぐ。くまそいまぐ。ちうぐぐ。ぐちそね事
あんどあぐをくまんを口ねぐ。ぐうりうあぐめ
しいとくしれぐ。とくりうやちれうんぐのちく奇
をちうまぐ。ぐうくめをまぐ。ぐまやびちりかぐ。ぐ

二のこしやのたゝかひ

ゑどよりゆくみちとんわうこせばむしやもりのたきいづく
ここもおもしろきなるこんやせんかみうらいこのこしや
ぶのわたがばくるまいづくやこのゆいわうかうん
といつぬきかうてやおまりのまなまびをしすこと
ひびいなりくいりこいそぞうやうれたるゆむ
こまいもこせんべいやうたんそいはいぶやいろ
なるこんの世よなれるまてがもうゆくしわこ
らうんすいぞういをろのやこべこだたいうんだ
うりのそゆこ後りこんぜかうこてぼがんのこ
後をこうんとくこしをとぎうたんしあひらく
なりのまだいのくむまりありゆこうま



なほ。なをあくいのまどとぞ命いとひとりうそうれぞ
命いたりたるようく拾ひすぐれば。いとう
あくつまくく。一二代そぐの名ぞそぞ。ぐさかりうる
ちぐひとい。今てそかりひあり物けまぞそとうう
だいの。こ面をとやめそうかどり。そうひれいあ
ぎつれり。まは

曽我物語巻第七終

日野光慶 無儀孫
伊藤政敦 道長栄法眼

伊爻氏